

構造改革特別区域計画

1 構造改革特別区域計画の作成主体の名称

新居浜市

2 構造改革特別区域の名称

新居浜市伝える力を育てる教育特区

3 構造改革特別区域の範囲

新居浜市の全域

4 構造改革特別区域の特性

新居浜市は、日本有数の銅山である別子銅山が元禄年間（1691年）に開坑され、以来企業城下町として四国有数の工業都市として発展してきた。平成15年4月には銅山発祥の地である旧別子山村と合併し、平成17年10月末現在の人口126,986人、世帯数54,162世帯の愛媛県下第三の都市である。

平成9年9月29日には「生涯学習都市宣言」を行い、自らが学ぶこと、ふるさとに感謝すること、世界との交流、共生を目指すことをまちづくりの基本とした。平成13年には第4次長期総合計画を策定し、多様化し高度化する市民ニーズに的確に応え、個性あるまちづくりを進めるために「～共に創ろう～心と技と自然が調和した誇れる新居浜」を目指す都市像に掲げ、市民参加から市民参画へ、さらには市民主導へという市民が主体となったまちづくりを推進している。そのために、自立した市民が生涯学習を通じて個人を高め、「地域」そして「まち」を高めようとする熱意や活動をもとに、市民、団体、企業及び行政がそれぞれの役割と責任を認識したうえで、互いに連携を深め協働してまちづくりを推進している。その結果、福祉、教育、国際交流をはじめ様々な分野のボランティアが生まれ、市民活動が拡大してきている。

近年、学校教育においては総合的な学習の時間や特別活動の時間を活用し、国際交流や日本語を大切にしている活動がALT、英語講師、地域の人材を活かしながら展開されている。その成果として、英会話の基礎、歌や英語劇などに取り組むことで、児童には従来の教科の中では得られなかったコミュニケーション能力や他者との関係構築能力が培われてきている。また、日本語についても地域のボランティアとの連携の下に読書活動、読み聞かせ、民話伝承活動などへの取組が増加してきている。これらの活動を推進することで、個性を生かし、様々な人の考え方や文化の違いを尊重できる、「生きる力」が育まれてきている。

また、本市では、昭和 61 年から、中高生が国際交流を通して、他国の文化・経済・生活習慣・人情等を理解し、友好親善の絆を結び、併せて自国の文化を客観的に見つめ直すことができるよう、中国、韓国、オーストラリア等に訪問団を派遣してきた。この活動を継続する過程で、派遣経験者の中から国際交流事業（グローバルセミナー等）を支える高校生ボランティアも生まれてきている。

本市においては核家族化の進展、地域コミュニティの機能の低下等により、児童生徒に様々な体験の欠如が見られる。本来、発達段階を踏み成長してきているはずが、未体験ゆえに必要な能力を獲得できていない児童生徒が増えてきており、その結果、人間関係を上手くつくれない状況が増加してきている。近年の本市の特徴として、小学校の時点で不登校児童数は全国レベルと比較して少ないにも関わらず、中学校では全国平均を上回る状況が近年続いている。その理由の一つとして、本来小学校学齢期に習得すべき、自らの考え方や感情を客観的に分析し、他者との関係において適切に表現する能力を身に付ける機会が不足していることが考えられる。小学校の時点で様々な人間関係のケースに接し、その体験をもとに適応するためのスキルを習得することが、中学校になってより多感な時期を迎えた際、自信を持って生きていく上での貴重な資産になるものと考え「伝える力」を育てることが急務であると考えている。

また、本市は企業城下町として生成発展してきた経緯から、外国人技術者が居住することが多く、その子女が共に授業を受ける事例も多い。また、その逆に海外勤務者が帰国し、その子女を受け入れることもあり、地方都市としては日常的に国際化を肌で感じる機会の多いまちである。児童生徒の間では相互に文化面での交流も促進されているが、一部の児童生徒に限られる現状もあり、広く学校レベル、地域社会レベルの交流の促進が求められている。十年ほど前に行われた市内在住の外国人との交流会の席上、参加者から来日直後に異邦人として好奇の目で眺められ辛かったこと、自国文化を紹介する機会がないこと、社会参加の場が少ないことなどが指摘された。また、国際交流の分野においては市民活動団体が主体となって様々な事業が展開されてきた。SGG（外国人に対する善意通訳の市民活動団体 Systematized Goodwill Guide）が主体となって取り組む日本語ガイドブックの作成、日本語の会による外国人に対する日本語指導、観光ガイドクラブによる着物の着付けなども含めた文化・観光面での交流事業など年々充実してきている。小学校においても総合的な学習の時間を活用して、系統的に国際理解教育に取り組む学校が増加し、一部の学校では、英会話や外国人の豊かな表現方法に接することで、日常生活の中でもジェスチャー等を交えた積極的な自己表現が定着してきた。単に、英語を学習するという側面ではなく、外国人・外国語と接することが、日常生活や学習活動の中に新しい刺激を生み出してきている。

また、愛媛県は正岡子規に代表されるように俳句に対して非常に関心が高い土地柄であることから、本市の一部の小学校では日本語に対しての感覚を磨き、同時に自己表現力を高めることを目的に、俳句をテーマとして年間を通じて取り組み、それまで自分の言いたいことを表現することが苦手だった児童が、十七文字の言葉を通じて成長してきた事例もある。また、俳句などを通じて日本語の良さを見直し、

表現に対する感覚を高めることは、友人や異世代との人間関係を構築する上で、相手を理解し、相手の立場に立って慮る上で大きな意義を持ち、言葉や表現手段の不足ゆえに非行や暴力に安易に流れることを防止する効果も上がってきている。

上記のような取組みを進めてきたことにより、児童・生徒の『伝える力』は一定向上してきたが、学んだ知識は体験を通じてはじめて定着するものであり、体験を通じて学んだ知識を客観的に分析し、対人関係の中に反映させることができると考えている。今回、特例を活用して新教科を設け、系統的なカリキュラムに基づいてコミュニケーションスキルを習得し、同学年のみならず異世代、外国人との交流などの多種多様な実体験の場を長期的な視点で確保することで伝える力を育み、コミュニケーションの大切さや他者に対する思いやり、さらには自分を大切にし、社会の構成員として責任主体となりうる“真の意味での市民意識”形成につながる教育を充実させる必要があると考えるに至ったものである。

5 構造改革特別区域計画の意義

国際化、高度情報化の進展など急激な社会構造の変化の中で、児童生徒が習得すべき能力は多様化してきており、適応するために必要な教育機会を提供することが求められている。将来、個人として社会的責任を担いうる真の市民として生きていく上では、様々な人々と共生していくために相互理解を図り、人間関係を構築していく能力（伝える力）が不可欠である。その基本として必要と考える二つの分野である自らの文化・言語を理解し、適切な言語表現を可能とする「表現科」と、国際社会での共通言語である英会話能力を身に付け、グローバル化した社会の中で生きていくためのスキルを習得する「英語で話そう科」を新設し、研究開発学校として両分野の推進を図ることが意義あるものと考え、以下のような観点から「新居浜市伝える力を育てる教育特区」の推進を図っていきたい。

(1) 『伝える力』の育成を図る。

児童生徒は核家族化、情報化、テレビゲームなどの普及に伴い、孤立傾向が進行し、他者と接触する際の対話や交流が上手くできない傾向が見られる。その背景には、幼児期からの言葉体験（言語に限らず、非言語の表現も含め）の欠損が考えられるが、当事業を通じて言葉の背景にある様々な人間の心情や文化を理解し、他者への思いやりに支えられた人間関係を構築できる児童生徒の育成が図られる。また、自らの感情や意思を適切に表現し、他者や社会とつながることができる児童生徒を育成することで、非行や不登校などの芽を摘むことが可能となる。

また、コミュニケーション能力の育成は単に小学校のみで終わるのではなく、中学校・高等学校の教育課程を見据えた長期的展望に立ったカリキュラムを開発し、より高い教育効果を生み出す。

(2) 国際感覚を市民生活に定着させる。

「国際人」としての必要条件としての英会話能力の習得を図り、将来グローバ

ルな場面で活躍できる人材を育成することが必要であり、その人材の地域への貢献が期待される。また、国際化が進展する中、本市でも外国人就労者、帰国子女等が増大している。それらの人材が当事業の中で指導者や補助者として活用され、受け入れが図られる風土づくりが期待される。ネイティブスピーカーである市内在住の外国人に活躍してもらうことで、市民と外国人との交流促進が図る。

(3) 英会話コミュニケーション能力の向上

変化の激しい時代において、学校教育でも社会の変化、要請に対して的確・迅速に対応していく能力の育成が迫られている。これから、国際社会を生きていく子ども達に身に付けさせたい力を整理し、それに基づいたカリキュラムの在り方を研究していく必要がある。特に、国際的な相互理解の手段として英語を使ったコミュニケーション能力をいかに育成していくかは喫緊の課題である。単に、英語力の向上を目指すのではなく、自国や他国の文化の理解に立脚した、英会話によるコミュニケーション能力の育成を目指すことで、自己を伝える能力の向上を図る。

(4) 生きる基盤としての日本語及び文化に関する理解促進

表現・思考の土台となる日本語を学習することにより、深く考える素養を身につけるとともに、自己表現力の向上が期待される。豊かな自己表現力を身につけることにより、自らの思いを語れる、地域社会を愛し担う人材が育成される。また、児童生徒が、郷土に対しての理解、日本に対しての理解、日本語の美しさに対する理解を深めることは、自らのアイデンティティ形成や文化に対する誇りを醸成することにもつながる。併せて、日本語や文化、郷土学習等については地域の人材の活用も期待され、学校と地域社会の連携が強化される。

6 構造改革特別区域計画の目標

自らの感情や意思について自信を持って他者に伝えることのできる力を身に付け、円滑な人間関係を構築することは、社会生活の安定につながる。また、他者のことを理解しようと努力する資質を持つためには、人それぞれ様々な考え方や感覚があることを理解するための学習が必要である。その基盤には「言葉」に支えられた文化理解があり、自国語・外国語の両面から異なった文化を学ぶ機会を提供する。当該計画においては、英会話のスキル習得を目指す「英語で話そう科」と日本語を媒介として表現力の向上を目指す「表現科」の二つの科目について指定校を設け研究開発を行う。「英語」と「日本語」という二つの言語について単なる知識としての理解を越えたところで、自己を適切に表現するスキルを習得することを通じ、すべての児童生徒の自我の確立を支援し、自己責任意識を持った真の市民としての資質向上を目指す。

なお将来的には両者を融合し、系統的な教育である『伝える力を育む時間』を展開したい。この「伝える力を育てる」活動を通じ、本市の児童生徒が、豊かな

感性に支えられた人間関係能力を培い、グローバルな規模で活躍することで本市のみならず国内外の発展につなげたい。

各分野における具体的な目標は次のとおりである。

(1) 「英語で話そう科」の学習

(実施校)

新居浜市立神郷小学校・角野小学校・新居浜小学校・宮西小学校

英語によって日常生活に関する「聞き」「話す」ことを可能とするスキルを習得した児童の増加を目指し、将来的には全員が外国人と日常的にコミュニケーションができるレベルの会話力を身につけ、国際社会で主体的にたくましく生きることが出来る資質を育成することを目標とする。

日常の指導に関しては、単に文法や読解の知識・理解にとどまらず、日常生活においてコミュニケーションが円滑にできる英語の運用能力を身に付けることを目標にする。年次ごとに指導要領に基づき、基本的な文法や語彙の理解を踏まえ、会話やスピーチなどのコミュニケーション手段として使用する活動をできるだけ多く提供し、英会話の楽しさや会話ができる達成感を生み出す。

単に中学校での英語科の前倒しに終わらないよう、「聞くこと」「話すこと」を中心に、歌やゲームなどを交えて児童の関心を高め、主体性を持って取り組むことで、積極的にコミュニケーションができる態度を醸成していく。

小学校卒業時に、3分間程度のスピーチができる英会話能力の取得を目指す。

(2) 「表現科」の学習

(実施校)

新居浜市立大生院小学校・高津小学校・惣開小学校

新居浜市立大生院中学校

児童生徒の人格形成の上で、他者との関係の中で自己を見詰め直す機会をそれぞれの発達段階に応じて積み重ねていくことが重要である。その際、自らの感情や意思を表現する力を身につけることが自我を確立する上で大きな力となる。国語科において学習する「話すこと」「聞くこと」を基盤としながら、その適応能力を高めるために、語彙の背景にある文化理解や表現の微妙なニュアンスを教え、コミュニケーションの実践を通じて、自分を見詰め、他者を思いやる資質を養う。

「表現科」での学習を通じて、日本語の美しさを再認識し、ふるさとを愛し、誇りを持って語ることのできる児童生徒を育てる。学年に応じて、わらべ歌、詩、俳句、短歌などを教え、地域との関わりのなかで身近な事象をとらえ学習することで表現力を涵養する。また、詩歌や小説などの暗唱や俳句等の創作を通じて、日本語が持つすばらしい響きを身体で覚える体験を重ねる。

「表現科」では、小学校・中学校との連続性、継続性を持たせる。また、日常

的に地域の人材が学校教育に関することで、大人と子どもの心の交流を促進し、地域の生活文化の継承を図ることを目指す。

7 構造改革特別区域計画の実施が構造改革特別区域に及ぼす経済的社会的効果

表現力が向上することによって、日常生活の様々な場面において良好な人間関係が構築され、言葉を通じた自己表現活動や他者への思いやり、社会との関係を考える力が身に付き、高い市民意識の醸成が期待される。表現が未熟なために直接暴力に訴えるような短絡的な非行の防止効果も期待される。また、他者への理解が深まることで集団生活の基本である協調性が高まり、思いやりの心や豊かな感性に支えられた人間関係が構築されることで学校が児童生徒にとって楽しくなり、不登校児童生徒の減少が見込まれる。

異文化に対する理解が深まり、他者を尊重する優しい、市内に在住する外国人にとって暮らしやすいまちづくりが促進される。市内に在住する外国人や英会話能力に優れた人材、日本語や郷土に造詣の深い人材を授業に活用することで、新規の雇用も生まれ、経済的効果が期待される。また、地域のボランティアやNPOの活用が促進され、市民が主役のまちづくりが促進される。子どもが英会話を学習することで、大人にも学ぶ姿勢が強まり、生涯学習が振興される。英会話に対するアレルギーが解消され、外国人との日常的な交流が促進される。将来的には、このような活動を通じて、日本文化を理解し、国際感覚に溢れ、グローバルな観点から地域を支え、国内外で活躍する人材が輩出し、地域社会全体の発展に貢献することが期待される。

8 特定事業の名称

802 構造改革特別区域研究開発学校設置事業

9 構造改革特別区域において実施し又はその実施を促進しようとする特定事業に関連する事業その他の構造改革特別区域計画の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項

(1) 「英語で話そう科」を充実するための事業

ア 「英語で話そう科」を核として、他教科との関連性を明確にした構想表の作成

小学校における「英語で話そう科」の位置付けを明確化するために、他の教科において実施している「表現力」を高めるための学習活動を抽出した構想表をつくる。

イ 英会話カリキュラム、指導方法、評価に関する研究開発事業

小学校における「英語で話そう科」の年間指導計画及び評価のための基準づくりを行う。

- ウ 英会話科非常勤講師（日本人）の市費採用事業
「英語で話そう科」を推進するにあたり英会話科非常勤講師を市費で採用し、小学校の担任との連携によって専門的な指導を行うとともに、小学校教員の英会話指導能力の向上を図る。
 - エ 外国人英語講師（JET）の市費採用事業
市費で招聘した外国人英語講師を活用し、児童生徒にネイティブの発音を体得させるとともに、チームティーチングを通じて教員の資質向上を図る。
 - オ 小学校の教員を対象とした英語教育研修事業
小学校の教員を対象に、「英語で話そう科」を推進するにあたり必要な教育指導能力習得するため、系統的な研修を実施する。
 - カ 英会話、コミュニケーション能力向上カリキュラム開発事業
中学校の英語科教員を主な対象に、英会話教育、コミュニケーション能力習得に必要な授業カリキュラムの開発を行う。
 - キ 小中学校教員に民間人も交えた英語教育合同研究プロジェクトの設置
小中教員のみならず、民間のボランティア、学識経験者も交えた英語教育に関する今後の方向性を検討する研究プロジェクトを開設する。
- (2) 「表現科」を充実するための事業
- ア 郷土学習、文化、民話、読み聞かせ等の地域人材のデータベース構築と活用
公民館等の社会教育機関との連携の下に、地域で活動している人材の発掘や人材バンクの充実に努め、学社融合の観点から、地域と一体化した活動を推進する。
 - イ 「表現科」のカリキュラムの編成、指導方法、評価に関する研究
小・中学校における「表現科」の年間指導計画及び評価のための基準づくりを行う。
 - ウ 「表現科」に関する非常勤講師の市費採用事業
「表現科」の事業を充実させるために、該当分野の専門的知識を有する人材を採用し、教員との連携の下に事業の充実に努める。
 - エ 「表現科」を核として、他教科との関連性を明確にした構想表の作成
小・中学校における「表現科」の位置付けを明確化するために、他の教科において実施している「表現力」を高めるための学習活動を抽出した構想表をつくる。
 - オ 「読む」「作る」活動を補助的に取り入れる。
朝の読書の時間、読み聞かせ活動、俳句や詩作、落語、音楽などの様々な活動を通じて表現活動への関心を高める。
 - カ 小・中学校に民間人も交えた表現力合同研究プロジェクトの実施
小中教員のみならず、市民ボランティア、学識経験者も交えた日本語に関する表現力向上の方向性を検討する研究プロジェクトを開設する。

別 紙

1 特定事業の名称

802 構造改革特別区域研究開発学校設置事業

2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者

(1) 英語で話そう科

新居浜市立神郷小学校・角野小学校・新居浜小学校・宮西小学校

(2) 表現科

新居浜市立大生院小学校・高津小学校・惣開小学校

新居浜市立大生院中学校

3 当該規制の特例措置の適用の開始の日

構造改革特別区域計画の認定日

4 特定事業の内容

(1) 事業に関与する主体

愛媛県新居浜市

(2) 事業が行われる区域

愛媛県新居浜市の小・中学校

当面は下記の学校で実施し、以降順次拡大し、将来的には全学校で実施することを検討する。

新居浜市立神郷小学校・角野小学校・新居浜小学校・宮西小学校

大生院小学校・高津小学校・惣開小学校・大生院中学校

(3) 事業により実現される行為

小学校・中学校の児童生徒を対象に、教育課程に新たに設ける『伝える力を育む時間』を通して、「英語で話そう科」及び「表現科」を実施する。

ア 小学校全学年において教科「英語で話そう科」を新設し、学級担任、日本人非常勤講師、ALTのチームティーチングで授業を実施する。

小学校1～2年生 年間10単位時間

小学校3～6年生 年間35単位時間

イ 小学校全学年・中学校において教科「表現科」を新設し、学級担任、地域非常勤講師の連携により授業を実施する。

小学校 1～2年生 年間 10 時間

小学校 3～6年生 年間 35 時間

中学校 1～3年生 年間 35 時間

5 当該規制の特例措置の内容

(1) 取組みの期間等

平成 18 年 4 月 1 日より開始し、順次改正を加え、平成 23 年度には大局的な観点から評価・見直しを行う。

(2) 教育課程の基準によらない部分

A 「英語で話そう科」

- ・ 外国語によるコミュニケーション能力の向上を図ろうとする態度の育成を目指し、小学校全学年において「英語で話そう科」を新設する。
- ・ 学校教育法施行規則第 24 条の 2 に定める授業時間を改め、小学校第 1 学年及び第 2 学年は、現在の授業時数に 10 単位時間を加えて実施し、小学校第 3 学年から第 6 学年は、「総合的な学習の時間」のうち、年間 35 単位時間を充てて実施する。

B 「表現科」

- ・ 自分を表現する能力やコミュニケーション能力を育成する、日本の文化や伝統を理解し、大切にすることを育成する、日本語を土台として深く考える力や豊かな感性を育てるという 3 つのねらいをもつ「表現科」を新設する。
- ・ 学校教育法施行規則第 24 条の 2、第 54 条に定める授業時間を改め、小学校第 1 学年及び第 2 学年は、現在の授業時数に 10 単位時間を加えて実施し、小学校第 3 学年から中学校第 3 学年においては、「総合的な学習の時間」のうち、年間 35 単位時間を充てて実施する。

(3) 計画初年度の教育課程の内容等

A 『英語で話そう科』

教育課程表(「英語で話そう科」研究開発学校) 小学校

区分	各教科の授業時数									道徳の授業時数	特別活動の授業時数	総合的な学習の時間	科 伝える力を育む時間英語で話そう	総授業時数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	体育					
1	272		114		102	68	68		90	34	34		10	792
2	280		155		105	70	70		90	35	35		10	850
3	235	70	150	70		60	60		90	35	35	70	35	910
4	235	85	150	90		60	60		90	35	35	70	35	945
5	180	90	150	95		50	50	60	90	35	35	75	35	945
6	175	100	150	95		50	50	55	90	35	35	75	35	945

ア 「英語で話そう科」のカリキュラム内容

「英語で話そう科」の学習内容については、各小学校において取組んでいく内容をもとに、カリキュラム作成委員会を設置し、毎年内容に修正を加え、本市独自の指導方針を早期に作成することとする。初年度の実践については、以下のようなカリキュラムを参考とし、各小学校において柔軟な対応を図ることとする。

当初は特定のテキストや教材は使用せず、指導計画に基づき指導し、その結果をもとにカリキュラム作成委員会において教科書を作成し、使用する。

イ 各学年の学習の目標・ねらい

低学年(1, 2年)

- ・ゲームや歌などを通して、簡単な単語やダイアログに慣れる。
- ・身近で基本的な英会話を聞いて、全身で自分の思いを表現することを楽しむ。

3年

- ・ゲームや歌などを通して、身近な英会話を聞いたり話したりすることに慣れる。
- ・英語を聞いたり話したりする活動を楽しむ。

4年

- ・簡単なダイアログを使って、英語で相手とやりとりができる。
- ・英語を聞いたり話したりする活動を楽しむ。

5 年

- ・相手が英語で伝えようとしていることを聞いて理解する。
- ・いろいろな人と英語でコミュニケーションすることを楽しむ。

6 年

- ・相手や場面に応じて、簡単な英会話表現を用いて、自分の思いを伝える。
- ・様々な人と英語でコミュニケーションすることを楽しみ、外国の文化を理解する。

第1学年 英語で話そう科 年間指導計画（全10時間）

学期	単元	内 容	基 本 表 現
1	えいごで あそぼう	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なあいさつ ・じゃんけんゲームをする ・数を数える 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Hi ! Hello. How are you ? I'm fine. Thank you. Hello Song ・ Rock, scissors, paper, go ! ・ One, two, three, four . . . ten Seven Steps
2		<ul style="list-style-type: none"> ・初めてのあいさつ ・果物の名前を知る ・体の部分の名前を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Hello ! I'm . Nice to meet you . Nice to meet you, too . ・ banana, apple, grapes, orange, strawberry, melon ・ head, shoulders, knees, toes, ears mouth, nose, eyes Head and shoulders
3		<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介をし、相手の名前を 尋ねる ・動物の名前を知る ・アニマルバスケットをする ・歌「きらきらぼし」を聞く 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Hello ! I'm . What's your name ? ・ lion, monkey, dog, cat, rabbit Twinkle Stars

第2学年 英語で話そう科 年間指導計画（全10時間）

学期	単元	内 容	基 本 表 現
1	えいごで あそぼう	<ul style="list-style-type: none"> 英語の歌 英語のあいさつ 果物の名前を知る 英語のゲーム (タッチゲームをする) 	<ul style="list-style-type: none"> Hello ! How are you ? I'm fine. Thank you. Nice to meet you . banana, apple, strawberry, melon, grapes...
2		<ul style="list-style-type: none"> あいさつをする (自己紹介をする) 動物の名前を知る 英語のゲーム (ビンゴゲームをする) 	<ul style="list-style-type: none"> Hello. Good morning . Hello I'm . Nice to meet you . Nice to meet you, too . lion, monkey, elephant... What animal do you like? I like
3		<ul style="list-style-type: none"> あいさつをする 体の部分の名前を知る 英語のゲーム (タッチゲームをする) 「Head and Shoulders」の歌を歌う 色の名前を知る 「Color song」を聞く 「If you're Happy, clap your hands.」を歌う 	<ul style="list-style-type: none"> Hello head, shoulders, knees, toes, eyes, ears, mouth, nose... red, blue, yellow, pink, green, black, white, orange... What color do you like ? I like

第3学年 英語で話そう科 年間指導計画 (全35時間)

	単元	内容	基本表現
1	英語であいさつをしよう	・初めてのあいさつ さよならのあいさつ	Nice to meet you. Nice to meet you, too. Good-by. See you.
2		・いつものあいさつ	How are you? I'm fine. O.K. Good.
3		・いつものあいさつ	How are you? Fine, Thank you. And you? I'm fine, too, Thank you.
4	数をきく	・数をきく	What number is It? One, two, three, ・ ・ twelve
5		・年齢をきく	How old are you? I'm 9 years old.
6		・時間を聞く	What time is it? It's 10. (o'clock)
7	これは何かときく(1)	・分からないものをきく	What's this? It's a pencil.
8		・色をきく	What color is this? It's red.
9		・果物の名前をきく	What fruit is this? It's an apple.
10		・動物の名前をきく	What animal is this? It's a dog.
11	これは何かときく(2)	・ものの形をきく	What shape is this? It's circle.
12		・食べ物の名前をきく	What food is this? It's bread.
13	好きかきく	・～が好きです	I like apples. I like baseball.
14		・好きですか?	Do you like bananas? Yes, I do. No, I don't.
15		・どちらが好きですか?	Do you like (better,) tomatoes or lettuce? I like tomatoes.
16		・どんなものが好きですか?	What sport do you like? I like soccer.
17	今日のことをきく	・曜日をきく	What day is it today? It's Monday.
18		・季節をきく	What season is it? It's autumn.
19		・月をきく	What month is it? It's January.
20		・天気をきく	How's the weather today? It's fine.
21	いろいろな質問(1)	・この人は誰かをきく	Who's this? She is my mother.
22.		・トマトが確かめてきく	Is it a tomato? Yes, it is.
23		・犬か猫かきく	Is it a dog or cat? It's a dog.
24	ものについてきく	・もっているかきく	Do you have a ruler? Yes, I do. No, I don't.
25		・ものがいくつあるかきく	How many pencils (are) ?
26		・いくつあるか答える	There are 3 pencils.
27	できるかきく	・知っているかきく	Do you know lions? Yes, I do. No, I don't.

28		・泳げるかきく	Can you swim ? Yes, I can. No, I can't.
29	いろいろな質問 (2)	・相手を気遣う	Take care. Thank you.
30		・元気がないのでどうしたのときく	What's wrong ? I'm hungry.
31		・元気がない人に次の日、元気がきく	Are you fine today ? Yes, I am.
32		・日付の言い方をきく	What date is it ? It's March tenth.

国際交流活動 (3 時間)

第 4 学年 英語で話そう科 年間指導計画 (全 35 時間)

	単 元	内 容	基 本 表 現
1	英語であいさつをしよう	・初めてのあいさつ	Hello, I'm... Nice to meet you..
2		・いつものあいさつ	How are you ? I'm fine, Thank you.
3		・いつものあいさつ	I'm good. I'm sad.
4		・名前をきく	What's your name ?
5	数をきく	・数をきく	What number is It ? One two three
6		・年齢をきく	How old are you ? I'm 10 years old.
7		・電話番号をきく	What your telephone number ? It's 45-0082.
8		・時間をきく	What time is it ? It's 7(o'clock)..
9	これは何かときく	・分からないことをきく	What's this ? It's a pen.
10		・色をきく	What color is this ? It's green.
11		・くだもの名前をきく	What fruit is this ? It's an apple.
12		・動物の名前をきく	What animal is this ? It's a lion.
13	今日のことをきく	・曜日をきく	What day is it ? It's Monday.
14		・日付をきく	What date is it ?
15		・日付をこたえる	It's June tenth.
16		・季節をきく	What season is it ?
17	ものについてきく	・いくつ持っているかきく	How many books do you have ?
18		・持っているかきく	Do you have a pencil ?

19		・好きかきく	Do you like ... ?
20	好きかきく	・どんな動物が好きかきく	What animal do you like ?
21		・どんなスポーツが好きかきく	What sport do you like ?
22		・どちらが好きかきく	Which do you like (better,) A or B ?
23		場所をきく	・どこにあるかをきく
24	・どこにあるかを答える		On the box. In the box.
25	できるかきく	・できるかきく	Can you Play ?
26		・できるかきく	Can you dance ?
27	ほしいものをきく	・ほしいものをきく	Do you want ... ?
28		・なにがほしいかきく	What ... do you want ?
29	だれかきく	・あなたの...ですか	Is this your pencil ?
30		・だれですか	Who's this ? She is my friend.
31	いろいろな質問	・どこへ行ってるの	Where are you going ?
32		・いくらですか	How much is it ?
33		・誕生日をきく	When is your birthday ?

国際交流活動（2時間）

第5学年 英語で話そう科 年間指導計画 (全35時間)

	単元	内容	基本表現
1	英語であいさつをしよう	・初めてのあいさつ、名まえを聞く ・お礼の言葉	Nice to meet you. Nice to meet you too. Thank you.
		・いつものあいさつ ・謝るときの言葉	How are you? I'm fine. Thank you. I'm sorry. It's OK.
2	数をきく	・数をきく	What number is it? One ,two ・ ・ sixty
		・年齢をきく	How old are you? I'm 28 years old.
3	できるかな	・スポーツができるかな	Can you swim? Yes, I can.
		・楽器の演奏などができる	Can you play the piano? No, I can't.
4	色や名前をきく	・分からないときの答え	What is this? It's a pen.
		・色をきく	What color is this? It's a green.
		・形の名前をきく	What shape is this? It's rectangle.
		・くだもの名まえをきく ・動物の名まえをきく	What fruit is this? It' an apple. What animal is this? It's a lion.
		・文房具の名まえをきく ・食べ物名まえをきく	What is this? That's a pencil. What food is this?
5.	月日、曜日をきく	・曜日をきく	What day is it? It's Monday.
		・月をきく	What month is it? It's March.
6	一日の活動	・何時に何をするかを話す	I get up at <u>時間</u> Wash my face eat breakfast go to school eat lunch go home watch TV go to bed
7			
8	いろいろな質問(1)	・物がどこにあるかきく	Where is the pencil? Here it is.
9		・味がどうかきく	How is it? It's delicious
10		・この人はだれか、きく	Who is this / he /she? She /He is a pilot.
11		・いつかをきく	When is your birthday? My birthday is January 1 st .
12		・トマトかどうかきく	Is it a tomato? Yes, it is.
		・犬か猫かきく	Is it a dog or a cat? It's a dog?
13		・生徒であるかきく	Are you a student? Yes, I am.
14	相手の予定をきく	・今日の予定をきく	Are you free now? I'm sorry.
		・明日の予定をきく	Are you free tomorrow?
15	相手の体の調子をきく	・相手を気づかう ・元気がない人に理由をきく	Take care. Thank you. What's wrong? I'm hungry.

16	季節をきく	・季節をきく	What season is it? It's spring.
	天候をきく	・天気をきく	How's the weather today? It's fine.
17	道をたずねられたら	・どこへいくの	Where are you going? To the park.
18		・ぼくが道案内するよ	Where is the post office? Over there.
19	英語で買い物をしよう (ファーストフード店で)	・食べ物や飲み物の名前	Cheese burger, soft drink, French fries.
20		・ほしい物を注文する	May I help you? Yes, . . . please.
21		・いくらかきく	How much is it? It's . . . dollars.
22		・注文してお金を払う	Change please. Thank you.
23	旅行に行こう(第1時)	・(あいさつ・名前の聞き方・ 出身国の聞き方・年齢の聞き 方)の復習 ・目的地の聞き方	Hello. How are you? I'm fine. What is your name? My name is_____.
	24	旅行に行こう(第2時)	・前時表現の復習 ・パスポートなどの必要な道具 の作成 ・次回のゲーム内容を説明
25	旅行に行こう(第3時)	・表現の応用 ・パスポートを使って世界一周 ゲームをする	Where are you going? Mt. Fuji.
26	これはゴミ?(第1時)	・再利用・資源ゴミ・ゴミの違 いを学び、英語でゴミの分別 の用語を学ぶ	Garbage, 3Rs, reduce, recycle This is for reuse. This is for recycle. This is garbage. I don't know.
	27	これはゴミ?(第2時)	・表現の復習 ・ゴミの違いの復習 ・家庭でのゴミの分別の仕方につ いて調べてきてもらい、話し 合う。 ・英語でゴミ分別ゲーム
28	これはゴミ?(第3時)	・新しい英語表現の学習 ・ゴミ分別ゲーム	Can you reuse this? Can you recycle this? Yes, I can. No, I can not.

国際交流活動(7)

第6学年 英語で話そう科 年間指導計画 (全35時間)

	単元	内容	基本表現
1	英語であいさつを 交わそう	初めてのあいさつ	I'm Nice to meet you .
2		いつものあいさつ 出身地を教える	How are you ? I'm fine, thank you . I'm from Japan.
3	数をきく	数をきく	How many elephants are there ?
4		年齢をきく	How old are you ? I'm ... years old.
5 .6		時間をきく	What time is it ? It's ... 7 : 3 0
7	好きかきく	好きかきく どんなものが好きか きく	Do you like white ? Yes, I do . What ... do you like ?
8		どちらが好きかきく	Which do you like better rice or bread ?
9		なぜ好きかきく	Why do you like it ? Because it's
10	これは何かときく	わからないものをきく 文房具の名前をきく 食べ物の名前をきく 色の名前をきく 形をきく 動物の名前をきく くだもの名前をきく	What's this ? It's What's that ? That's a pencil . What food is this ? It's bread . What color is this ? It's blue . What shape is this ? It's rectangle . What animal is this ? It's a dog . What fruit is this ? It's an apple .
11	今日のことをきく	曜日・季節をきく	What day is it today ? It's Monday. What seasons is it ? It's spring .
12		何月何日かきく	What's the date today ? It's May first .
13	いろいろな質問	ほしいものは何か聞く	What ... do you want? I want
14		したいことは何か聞く	What do you want to do?
15		仕事を聞く	What do you do? I'm a student
16	英語で買い物をしよ う	食べ物や飲み物の名前	Cheese burger , soft drink , French fries ,
17	(ファーストフード店 で)	ほしい物を注文する	May I help you ? Yes, ... please .
18		いくらかきく	How much is it ? It's ... dollars .
19		注文してお金を払う	Change please . Thank you .
20		海外旅行の飛行機の中で	What would do you like ... ?
21	英語を使ってみよう	道を尋ねられたら (1)	Go straight . Turn right . Turn left.

22		道を尋ねられたら (2)	First corner, second corner ,
23	旅行に行こう(第1時)	(あいさつ・名前の聞き方・出身国の聞き方・年齢の聞き方)を復習 (目的地の聞き方)を新しく習う。	Hello. How are you? I'm fine What is your name? My name is _____. Where are you from?
24	旅行に行こう(第2時)	表現の復習 パスポートなどの必要な道具を児童が作成 次回のゲーム内容を説明	I'm from_____. How old are you? I am _____(years old). Where are you going?
25	旅行に行こう(第3時)	表現を応用して使う。 パスポートを使って世界一周ゲームをする。	Mt. Fuji
26	これはゴミ?(第1時)	再利用・資源ゴミ・ゴミの違いを学び、英語でゴミの分別の用語を学ぶ	Garbage, 3Rs, reduce, recycle This is for reuse. This is for recycle. This is garbage. I don't know.
27	これはゴミ?(第2時)	表現の復習 ゴミの違いの復習 自分の家のやり方について調べてきて話し合う。 英語でゴミ分別ゲーム	
28	これはゴミ?(第3時)	新しい英語表現を学ぶ 英語でゴミ分別ゲーム	Can you reuse this? Can you recycle this? Yes, I can. No, I can't.

国際交流活動(7時間)

イ 「英語で話そう科」の評価方法

- ・ 「聞くこと」や「話すこと」について実際の言語コミュニケーション活動を通じて評価する。学年毎にその関心度や表現力などの評価基準を設定し、スピーチや対話の中で授業の成果を発表できる機会を設定し、個々の意欲や向上心を踏まえて評価する。評価については、観点別の評価基準を設け、文章等により評価する。
- ・ 会話力の定着度を客観的に評価するために、英語検定、児童英語検定の受検を促す。

ウ 転入生への対応

長期休業中や放課後等に ALT や教員が補習を行い対応する。

B 『表現科』

教育課程表（「表現科」研究開発学校）

小学校

区分	各教科の授業時数									道徳の授業時数	特別活動の授業時数	総合的な学習の時間	伝える力を育てる時間 表現科	総授業時数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	体育					
1	272		114		102	68	68		90	34	34		10	792
2	280		155		105	70	70		90	35	35		10	850
3	235	70	150	70		60	60		90	35	35	70	35	910
4	235	85	150	90		60	60		90	35	35	70	35	945
5	180	90	150	95		50	50	60	90	35	35	75	35	945
6	175	100	150	95		50	50	55	90	35	35	75	35	945

教育課程表（「表現科」研究開発学校）

中学校

区分	必修教科の授業時数									道徳の授業時数	特別活動の授業時数	選択教科等に充てる授業時数	総合的な学習の授業時数	現科	伝える力を育てる時間 表	総授業時数
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語							
1	140	105	105	105	45	45	90	70	105	35	35	0~30	35~65	35	980	
2	105	105	105	105	35	35	90	70	105	35	35	50~85	35~70	35	980	
3	105	85	105	80	35	35	90	35	105	35	35	105~165	35~95	35	980	

ア 『表現科』のカリキュラム内容

『表現科』の特長は、日本人としてすべての基盤となる日本語を土台として豊かな人間性を育み、自分の思いを自分の言葉で表現できる児童生徒を育てるために、9年間（小学校6年間、中学校3年間）を通した一貫した教科内容によって学ぶものである。

『表現科』の目標・内容は各学年によって異なるが、基本的には

「自分を表現する能力やコミュニケーション能力を育成する」

「日本の文化や伝統を理解し大切にす態度を育成する」

「日本語を土台として深く考える力や豊かな感性を育てる」 とする。

『表現科』の各学年の目標・ねらいと内容

学 年	目 標 ・ ね ら い	主 な 内 容
1年 2年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉に対して興味をもち、話すことや聞くことを楽しんで行う。 ・ あいさつや簡単なスキル活動により正しい日本語について理解し、それを活用しようとする。 ・ 日本の行事・習慣、歌・遊びなどを体験することにより、日本の文化のすばらしさにふれ、それを表現しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スピーチ ・ 質問コーナー ・ 伝言ゲーム など ・ スキル活動 ・ あいさつ ・ うれしい言葉 など ・ 読み聞かせ ・ 昔の遊び ・ 生活科との関連
3年 4年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 美しい日本語に興味をもち、話すことや聞くこと話し合うことを楽しんで行う。 ・ あいさつや会話などのスキル活動により、様々な人とのコミュニケーションのとりかたを理解し、それを日常生活の中で生かそうとする。 ・ 日本の行事・習慣、歌・遊びなどを体験することにより、日本語や日本の文化のすばらしさを表現する方法を考え、他の人にも伝えようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スピーチ ・ インタビュー ・ 話し合いゲーム など ・ 司会や話し合いの仕方 ・ スキル活動 ・ 丁寧語 敬語 ・ あたたかい言葉 など ・ ことわざ、四文字熟語などにふれる ・ 俳句づくり ・ 表現方法の自己決定
5年 6年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正しく、美しい日本語に興味をもち、話すことや聞くこと、話し合うことについての意欲を高める。 ・ あいさつや会話などのスキル活動により、様々な人とのよりよいコミュニケーションのとりかたを理解し、それを日常生活の中で生かそうとする。 ・ 日本の行事・習慣、歌・遊びなどを体験することにより、日本語や日本の文化のすばらしさを表現する方法を考え、他の人にも進んで伝えようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スピーチ ・ 社会的な話題に自分の考えを持つ など ・ 話し合いモデルの活用 ・ スキル活動 ・ 共通語・尊敬語 ・ 高めあう言葉 など ・ 落語・短歌・川柳などにふれる ・ 俳句づくり ・ 表現方法の活用

イ 『表現科』の基本方針

- ・美しい日本語のためのスキルを重視する。
深く考える時、また自己を表現するときに不可欠である語彙の習得を図る。
(話す、聞くスキル・コミュニケーションスキル等)
- ・思考力の育成を重視する。
児童・生徒の身近なできごと、現象、社会の仕組み等を素材として個人また集団で考えさせ、深く考えることを身につけさせる。
- ・表現力の育成を重視する。
自分で考えたこと、自分の思い、自分の感情を表現することや他者に伝えることの楽しさ、むつかしさを体験させ、他者とのコミュニケーションから新しい文化の基礎ができることを実感させる。
そのための手段として俳句による表現活動を中心に据える。17という短い文字の中に、自分の思いをいれることで自己の言葉で考え表現する「道具」とする。
選句会や句会等も取り入れ、将来的には、中学校、地域と連携した句会に発展させたい。
- ・日本文化の理解を重視する。
日本独特の文化を伝承、継承している人たちと出会い直接体験することを通して(ふるさと探検等)日本の文化や伝統を実感し肌で理解させる。
- ・日本語を土台として考える力や表現力、コミュニケーション能力の基礎となる豊かな感性を育てる。
その手段として体験活動を多くとりいれ感性を磨くスキルを行う。

ウ 『表現科』の評価方法

『表現科』の基本方針に基づき、複数の評価の観点を設定し、実習やコミュニケーション現場での態度や意欲などによって評価する。評価においては、人間関係の中での各自の改善や向上心の変化に着目し、一人ひとりの向上意欲を高めるよう配慮する。

エ 転入生への対応

長期休業中や放課後等に補習を行い対応する。

(4) 要件適合性を判断した根拠

ア 『英語で話そう科』

今日の情報化の進展等グローバルな変化の激しい社会にあって、児童生徒の国際社会に通じる「生きる力」の育成は急務であり、全教育活動を通して実践していく必要がある。そのような中、「総合的な学習の時間」では、地域社会や学校の実態等に応じて、横断的、総合的に学習に取り組み、児童・生徒の主体性を尊重して興味・関心に基づき創意工夫による教育活動を推進し、「自ら学び考

える力の育成」、「学び方や調べ方を身に付けること」をねらいとした学習が行われている。

本計画では、第1学年及び第2学年については10単位時間を追加し、第3学年から第6学年については「総合的な学習の時間」の内の35単位時間を別枠として「英語で話そう科」を設ける。本教科は、英語で話すことに日常的に馴れ親しむことによってコミュニケーションに必要なスキルを身に付け、国際社会への関心を深め、よりよく知ろうとする意欲を培うものである。

「英語で話そう科」で育成される英語運用能力やコミュニケーション能力、表現力等は、豊かな国際感覚や国際社会を生き抜く力を育むものであり、このことは「総合的な学習の時間」のねらいである「自ら学び、自ら考える力の育成」や「主体的、創造的態度の育成」に合致するものである。また、学校教育で目指す「生きる力」の育成のみならず、これからの国際社会に生きる日本人の育成にも合致した教育活動であることから、本計画の実施において時間削減される「総合的な学習の時間」の一部は十分に補完され、そのねらいや目標は達成されるものと考えられる。

イ 『表現科』

日常生活における日本語の乱れ、表現力の脆弱さが、近年の児童生徒の社会性の欠如に通じ、引いては非行の凶悪化や不登校等の増加につながっているとの観点から、当事業を実施することを通じて児童生徒の言語に対する感覚を磨き、自らの感情を豊富にし、日本語への興味・関心を深める。

日常生活の中で生きたものにするために、同学年の児童生徒のみならず、様々な世代の人々との関りの中で、日本語を使って正しく自分の気持ちを表現したり、伝えあったりするエクササイズが必要である。こうした活動を通じて、日常的に正しい日本語、美しい日本語を使おうとする意識をもつことは、日本文化を守り育てていくべき子ども達にとって必要不可欠である。「美しい日本語」を残すことは、とりもなおさず「美しい日本」を残すことである。

『表現科』では国語や道徳の科目において習得した知識を、「自己表現」、「集団討議」、「会話」などの実体験を重視した学習の中で錬磨することを目指す。俳句等の創作活動や読書活動を継続的に実施することにより、長期的な視点で個人の成長を評価することができ、日常生活に反映されるものと期待している。また、総合的な学習の時間における授業とは異なり、カリキュラムに基づく体系的な学習を将来的には全市において共通実施していきたい。

特に、国語科とは両者の相互連携を十分に配慮しながらも、『表現科』においては、日本語の表現の根底にある語彙の意味の理解を基本におき、各人の語彙を拡大させ、相手の立場を忖度し、その心情や言動の背景を深く理解した上で物事を多角的に考え、喜びや悲しみなどの感情を的確に理解し、さらに伝えることのできる人間性の確立を目指す。

そのことが円滑な人間関係を構築する資質を身に付けることにつながり、

様々な障壁に突き当たった際に、それを克服できる「生きる力」が育まれる。現在の青少年はミーイズムの風潮が強く、将来を肯定的に、理想的に捉えることが難しい状況であるといわれるが、社会生活上の態度や姿勢などを含め、個々の生き方そのものの意義を他者の考え方や生き方を参考にすることで客観的に見直し、社会規範や公共性をわきまえた社会の構成員としての自覚を持つ“真の市民性”を醸成するための教科として『表現科』を位置付ける。

また、国語科目で習得された基礎を、個々の感性や経験を踏まえ、深化・定着させる授業として、効果が期待されるため、新たな教育活動として位置づけることが適当であると判断したものである。

以上のように『表現科』を実施することは、コミュニケーション能力を高め、児童生徒の生きる力を育む。「美しい日本語」を残すことは引いては『美しい日本』の文化を後世に残すことに繋がり、児童生徒が真の市民として成長するための教育活動である。コミュニケーション能力、表現力等は、日本人としての情緒、感覚を磨き、自らのアイデンティティを確立し、国際社会を生き抜く力を育むものである。このことは「総合的な学習の時間」のねらいである「自ら学び、自ら考える力の育成」や「主体的、創造的態度の育成」に合致し、学校教育で目指す「生きる力」の育成につながることから、本計画の実施において時間削減される「総合的な学習の時間」の一部は十分に補完され、そのねらいや目標は達成されるものとする。